

株主のみなさまへ



第 **106** 期 中間事業報告書  
平成17年4月1日から平成17年9月30日まで

## 株主のみなさまへ



株主のみなさまにはご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、当社グループはこのたび平成17年4月1日から平成17年9月30日までの中間決算を行いましたので、その概況についてご報告申し上げます。

当中間連結会計期間のわが国経済は、企業収益の改善による設備投資の増加や、個人消費にも回復の兆しが見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような情勢のなかで当社グループは、販売体制の一層の強化と新商品の開発による新規市場の開拓に取り組み、事業領域の拡大をはかるとともに、主力商品の製造コストの削減を中心として徹底した合理化をグループをあげて推進し、業績の向上に努めてまいりました。

防災用繊維製品事業では、消防用・産業用ホースの拡販や大口径管更生工法「パルテム・フローリング工法」の受注拡大、また、産業用繊維製品事業では、広巾織物、シートベルト、エアバッグなどの販売拡大に注力いたしました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は173億45百万円と、前年同期比14.6%の増収となりました。利益面では、徹底したコストの削減を全社をあげて強力で推し進めたため、経常利益は5億24百万円と、前年同期比14.5%の増益と

なり、中間純利益につきましても、2億63百万円と、前年同期比46.2%の大幅な増益となりました。なお、中間配当金は、前年と同じく1株につき2円50銭とさせていただきます。

今後の経済は、原油・原材料価格の動向や、米国や中国など、主要貿易相手国経済の不透明感など懸念材料もあるものの、引き続き、製造業を中心とした好調な企業収益に支えられ、緩やかな回復基調で推移することが予想されます。

当社グループは、今後もグローバルな視点で経営資源の有効活用と経営全般にわたる合理化を推進してまいります。また、高付加価値商品の拡販に引き続き努めるとともに、顧客のニーズを的確に捉えた新商品の開発による新規市場の開拓にも注力し、激化する企業間競争に打ち勝つことのできる企業体質を目指し、業績の向上と事業の一層の発展に全力をあげて取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成17年12月

取締役社長

側島克信

## 営業の概況（連結）

### 防災用繊維製品事業

#### （防災部門）

消防用ホース、防災関連商品は、自治体の財政縮小による官需低迷の影響により、売上は減少いたしました。また、消火栓用ホースも、消防用設備等の点検基準改定による取り替え物件が一巡したことによる、市場全体の需要の減少と供給量の増加のため、価格競争が激化し、売上は大幅に減少いたしました。この結果、当部門の売上は前年同期に比べ減少いたしました。

#### （パルテム部門）

「パルテム・フローリング工法」は、主要都市市場で受注を獲得し、売上は増加いたしました。「パルテムH工法」は、上・下水道およびプラント分野では売上は増加しましたが、通信分野におきましては需要の減少に伴い、売上は減少したほか、下水道分野の「パルテムS工法」も売上は減少いたしました。この結果、当部門の売上は前年同期に比べ減少いたしました。

以上の結果、当中間連結会計期間における防災用繊維製品事業の売上は、21億54百万円と、前年同期に比べ、20.8%減少いたしました。

### 産業用繊維製品事業

#### （産業資材部門）

広巾織物は、歯付ベルト補強布が、輸出向けで在庫調整があったものの全般的には堅調に推移したほか、「シリカスクリーン」、「タイトナー」なども好調に推移しました。また、安全帯用ベルトも業績に寄与いたしました。この結果、当部門の売上は前年同期に比べ増加いたしました。

#### （自動車安全部品部門）

シートベルトは、数車種で新規受注品が量産開始となったほか、好調な自動車業界の影響もあり、売上は増加いたしました。また、エアバッグは、側面衝突対応エアバッグの拡販に注力した結果、売上は大幅に増加いたしました。また、自動車関連商品につきましても、電動リアサンシェード、トノカバーが堅調に推移しました。この結果、当部門の売上は前年同期に比べ大幅に増加いたしました。

#### （ジオ部門）

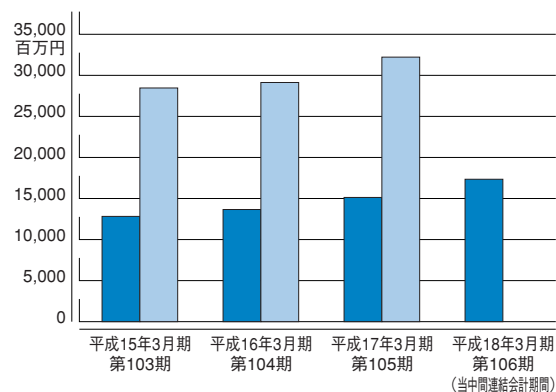
緊急排水ホースは、自然災害対策の気運の高まりにより、需要が拡大し、売上は大幅に増加したほか、土木建設用特殊織物

は、鉄道高架橋用およびトンネル止水用が好調に推移いたしました。しかし、基礎杭用異径織物は、杭業界の落ち込みの影響を受け、売上は大幅に減少いたしました。この結果、当部門の売上は前年同期に比べ減少いたしました。

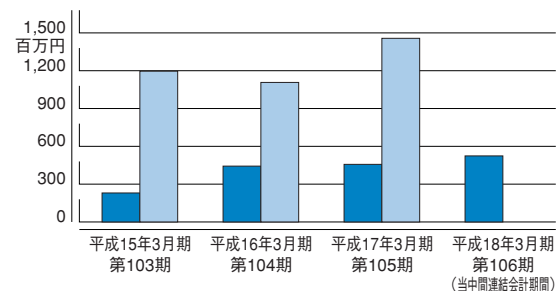
以上の結果、当中間連結会計期間における産業用繊維製品事業の売上は、151億56百万円と、前年同期に比べ、22.5%増加いたしました。

### 業績の推移（連結）

	平成15年3月期 第103期	平成16年3月期 第104期	平成17年3月期 第105期	平成18年3月期 第106期 (当中間連結会計期間)
● 売上高 (通期)	28,461百万円	29,129	32,219	—
● 売上高 (中間期)	12,821百万円	13,660	15,129	17,345



	平成15年3月期 第103期	平成16年3月期 第104期	平成17年3月期 第105期	平成18年3月期 第106期 (当中間連結会計期間)
● 経常利益 (通期)	1,196百万円	1,107	1,457	—
● 経常利益 (中間期)	230百万円	443	457	524



# 連結貸借対照表

科 目	第106期中間 平成17年9月30日現在 (当中間連結会計期間)	第105期中間 平成16年9月30日現在	第105期 平成17年3月31日現在
(資産の部)	百万円	百万円	百万円
流動資産	18,266	16,787	18,349
現金及び預金	3,257	2,921	3,285
受取手形及び売掛金	10,170	9,330	10,441
有価証券	—	65	5
たな卸資産	4,209	3,883	4,036
繰延税金資産	311	267	253
その他	338	329	345
貸倒引当金	△ 20	△ 11	△ 17
固定資産	12,446	12,049	11,935
有形固定資産	(8,930)	(8,855)	(8,930)
建物及び構築物	2,633	2,574	2,615
機械装置及び運搬具	2,437	2,450	2,338
工具器具備品	1,195	1,233	1,238
土地	2,588	2,587	2,587
建設仮勘定	74	10	149
無形固定資産	(92)	(107)	(100)
投資その他の資産	(3,423)	(3,086)	(2,904)
投資有価証券	3,146	2,678	2,412
長期貸付金	38	19	41
繰延税金資産	27	192	235
その他	403	310	324
貸倒引当金	△ 192	△ 113	△ 109
資産の部合計	30,712	28,837	30,285

科 目	第106期中間 平成17年9月30日現在 (当中間連結会計期間)	第105期中間 平成16年9月30日現在	第105期 平成17年3月31日現在
(負債の部)	百万円	百万円	百万円
流動負債	9,512	8,615	9,694
支払手形及び買掛金	7,273	6,615	7,123
短期借入金	250	210	250
未払金	889	782	1,233
未払法人税等	300	212	316
賞与引当金	330	321	316
その他	468	473	454
固定負債	1,707	1,629	1,693
退職給付引当金	1,429	1,380	1,417
役員退職慰労引当金	206	192	224
その他	99	56	51
負債の部合計	11,247	10,245	11,387
少数株主持分	4	2	3
(資本の部)			
資本金	8,388	8,388	8,388
資本剰余金	7,431	7,431	7,431
利益剰余金	3,270	2,780	3,197
株式等評価差額金	936	496	482
為替換算調整勘定	△ 108	△ 67	△ 157
自己株式	△ 457	△ 439	△ 449
資本の部合計	19,460	18,590	18,894
負債、少数株主持分及び資本の部合計	30,712	28,837	30,285

## 連結損益計算書

科 目	第106期中間 平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで (当中間連結会計期間)	第105期中間 平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで	第105期 平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで
	百万円	百万円	百万円
<b>経常損益の部</b>			
<b>営業損益の部</b>			
売上高	17,345	15,129	32,219
売上原価	14,786	12,702	26,874
販売費及び一般管理費	1,992	1,891	3,846
<b>営業利益</b>	<b>565</b>	<b>534</b>	<b>1,499</b>
<b>営業外損益の部</b>			
営業外収益	60	49	121
受取利息及び配当金	17	19	23
持分法による投資利益	—	—	60
雑収入	43	30	37
営業外費用	101	126	163
支払利息	0	0	2
持分法による投資損失	29	30	—
雑損失	71	96	161
<b>経常利益</b>	<b>524</b>	<b>457</b>	<b>1,457</b>
<b>特別損益の部</b>			
特別利益	100	0	114
固定資産売却益	0	0	5
投資有価証券売却益	62	—	109
受取補償金	37	—	—
特別損失	191	96	335
固定資産処分損	59	31	80
投資有価証券評価損	48	—	50
ゴルフ会員権評価損	—	7	11
貸倒引当金繰入額	83	—	—
製品改善対策費	—	56	192
<b>税金等調整前中間(当期)純利益</b>	<b>433</b>	<b>362</b>	<b>1,236</b>
法人税、住民税及び事業税	274	180	511
法人税等調整額	△105	1	△18
少数株主利益	△1	0	△0
<b>中間(当期)純利益</b>	<b>263</b>	<b>180</b>	<b>743</b>

## 株式に関する事項

株式の総数（平成17年9月30日現在）

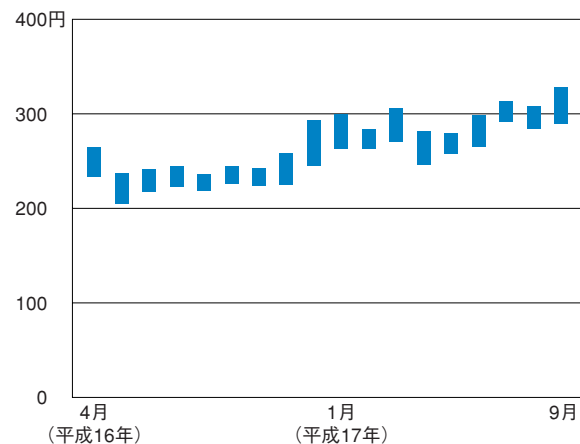
発行する株式の総数	220,000,000株
発行済株式の総数	60,569,390株

大株主（平成17年9月30日現在）

株 主 名	持 株 数	議決権比率
東洋紡績株式会社	9,201,152株	16.1%
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	3,258,000	5.7
日本マスター・トラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,745,000	3.1
株式会社東京三菱銀行	1,441,500	2.5
シティグループグローバルマーケティング	1,201,000	2.1
三井住友海上火災保険株式会社	1,168,593	2.0
芦森工業従業員持株会	1,033,538	1.8
日本生命保険相互会社	956,188	1.7
ゴールドマンサックスインターナショナル	799,000	1.4
御幸ホールディングス株式会社	600,000	1.0
<b>合 計</b>	<b>21,403,971株</b>	<b>37.4%</b>

(注) 当社は自己株式2,405,239株を保有しておりますが、上記の大株主からは除外しております。

株価（東京証券取引所）



# 貸借対照表

科 目	第106期中間 平成17年9月30日現在 (当中間期)	第105期中間 平成16年9月30日現在	第105期 平成17年3月31日現在
(資産の部)	百万円	百万円	百万円
流動資産	17,431	16,275	17,479
現金及び預金	2,235	2,315	2,746
受取手形	1,935	2,403	2,554
売掛金	8,243	6,958	7,496
有価証券	—	65	5
製品	1,508	1,319	1,451
原材料	154	194	152
仕掛品	2,146	1,942	1,938
貯蔵品	45	47	43
前払費用	50	52	24
未収入金	860	759	808
繰延税金資産	219	200	224
その他	40	22	42
貸倒引当金	△ 9	△ 8	△ 9
固定資産	12,437	12,100	11,945
有形固定資産	(7,955)	(7,968)	(8,013)
建物	2,254	2,289	2,246
構築物	123	94	102
機械及び装置	1,870	1,889	1,818
車両運搬具	12	11	13
工具器具備品	1,173	1,204	1,214
土地	2,470	2,470	2,470
建設仮勘定	50	8	147
無形固定資産	(85)	(98)	(92)
工業所有権	65	77	71
ソフトウェア	11	12	12
その他	8	8	8
投資その他の資産	(4,396)	(4,034)	(3,839)
投資有価証券	2,701	2,246	1,979
会社株	1,633	1,313	1,313
長期貸付金	357	335	358
繰延税金資産	248	349	401
その他	303	302	316
貸倒引当金	△ 103	△ 106	△ 103
投資損失引当金	△ 745	△ 405	△ 426
資産の部合計	29,868	28,376	29,424

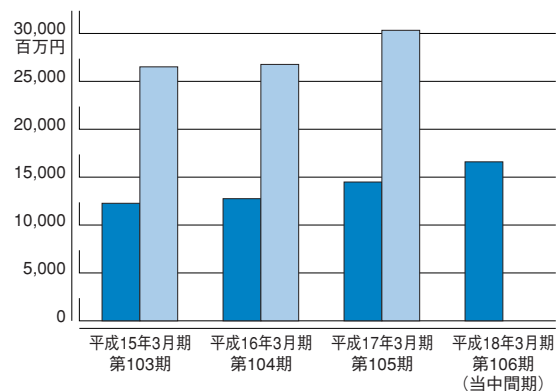
科 目	第106期中間 平成17年9月30日現在 (当中間期)	第105期中間 平成16年9月30日現在	第105期 平成17年3月31日現在
(負債の部)	百万円	百万円	百万円
流動負債	9,066	8,161	9,003
支払手形	208	271	374
買掛金	7,037	6,210	6,465
未払金	824	763	1,169
未払法人税等	291	203	303
未払消費税等	6	—	—
未払費用	269	256	234
前受金	3	4	37
預り金	89	91	91
賞与引当金	289	280	280
設備関係支払手形	46	78	47
固定負債	1,627	1,578	1,639
長期未払金	5	17	10
退職給付引当金	1,415	1,368	1,403
役員退職慰労引当金	206	192	224
負債の部合計	10,694	9,739	10,643
(資本の部)			
資本金	8,388	8,388	8,388
資本剰余金	7,431	7,431	7,431
資本準備金	7,431	7,431	7,431
利益剰余金	2,850	2,734	2,902
利益準備金	761	761	761
買換資産圧縮積立金	385	399	399
中間(当期)未処分利益	1,704	1,573	1,740
株式等評価差額金	936	496	482
その他有価証券評価差額金	936	496	482
自己株式	△ 432	△ 414	△ 424
資本の部合計	19,174	18,636	18,781
負債及び資本の部合計	29,868	28,376	29,424

# 損益計算書

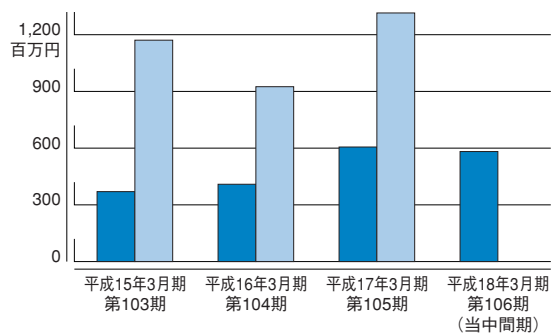
科 目	第106期中間 平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで (当中間期)	第105期中間 平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで	第105期 平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで
経常損益の部	百万円	百万円	百万円
営業損益の部			
売上高	16,598	14,491	30,329
売上原価	14,272	12,252	25,649
販売費及び一般管理費	1,749	1,647	3,356
営業利益	576	591	1,324
営業外損益の部			
営業外収益	78	93	142
受取利息及び配当金	34	59	71
雑収入	44	34	70
営業外費用	73	77	150
支払利息	0	0	1
雑損失	73	77	148
経常利益	582	606	1,315
特別損益の部			
特別利益	100	0	114
固定資産売却益	—	0	4
投資有価証券売却益	62	—	109
受取補償金	37	—	—
特別損失	426	96	355
固定資産処分損	59	31	80
投資有価証券評価損	48	—	50
子会社投資損失	318	—	20
ゴルフ会員権評価損	0	7	11
製品改善対策費	0	56	192
税引前中間(当期)純利益	255	511	1,073
法人税、住民税及び事業税	268	175	491
法人税等調整額	△151	33	△33
中間(当期)純利益	138	302	616
前期繰越利益	1,565	1,270	1,270
中間配当額	—	—	145
中間(当期)未処分利益	1,704	1,573	1,740

## 業績の推移 (単独)

売上高 (通期)	26,515百万円	26,768	30,329	—
売上高 (中間期)	12,271百万円	12,752	14,491	16,598



経常利益 (通期)	1,171百万円	925	1,315	—
経常利益 (中間期)	370百万円	409	606	582



## 会社の概要

創設	業立	明治11年11月7日
資本金		昭和10年12月27日
発行済株式総数		8,388,681,265円（平成17年10月31日現在）
本社		60,569,390株（平成17年10月31日現在）
		大阪市西区北堀江3丁目10番18号（〒550-0014）
		電話 / 大阪（06）6533-9250
東京支社		東京都中央区日本橋室町4丁目3番16号 柳屋太洋ビル（〒103-0022）
		電話 / 東京（03）3246-7300
大阪工場		大阪府摂津市千里丘7丁目11番61号（〒566-0001）
		電話 / 大阪（06）6388-1212
篠山工場		兵庫県篠山市西町40番地の2（〒669-2342）
		電話 / 篠山（079）552-1177
福井工場		福井県小浜市多田2号雲月8の5（〒917-0026）
		電話 / 小浜（0770）56-1212
防府工場		山口県防府市浜方473番地の10（〒747-0833）
		電話 / 防府（0835）38-0377

**連結対象子会社**  
芦森エンジニアリング㈱、アシモリセンイ㈱、ジェット商事㈱、芦森不動産㈱、ASHIMORI AMERICA INC.、芦森科技(無錫)有限公司、ASHIMORI (Thailand) Co., LTD.

**持分法適用関連会社**  
㈱赤尾、DELPHI AUTOMOTIVE SYSTEMS ASHIMORI LLC、DELPHI AUTOMOTIVE SYSTEMS ASHIMORI de MEXICO S.A. de C.V.

**インターネットホームページ**  
<http://www.ashimori.co.jp/>

## 営業品目

部門	営業品目
防災	消防用ホース（ジェットホース）、消火栓用ホース、工業用ホース、ゴルフ場用・かんがい用ホース、防災関連商品
パルテム	パイプラインニングシステムおよび同システムによる工事用諸材料
産業資材	高機能資材織物、合繊帆布、ろ過布、細巾織物、組紐、合繊ロープ、浮子綱（アバライン）、自動車海上輸送用固定ベルト（タイトナー）、トラック用リフトアップ方式ローラコンベア（エアールール・システム）
自動車安全部品	自動車用シートベルト、エアバッグ、後部車室用カバー（トノカバー）、ルーフブラインド、電動リアサンシェード、カーゴネット、チャイルドシート用品
ジ オ	土木建設用特殊織物、異径・大口径・保形円筒織物、緊急排水ホース

## 役員

（平成17年11月30日現在）

取締役社長	側 島 克 信	取締役	松 尾 俊 樹
専務取締役	安 田 浩	取締役	高 橋 正 雄
常務取締役	佐 藤 彰 宏		
常務取締役	平 山 雅 夫	常勤監査役	関 伸 二
常務取締役	松 岡 弘	常勤監査役	川 内 正 樹
取締役	木 村 一 郎	監 査 役	植 原 誠 慈
取締役	武 田 弘		

## 株主メモ

<b>決算期</b>	毎年3月31日に決算を行います。
<b>定時株主総会</b>	毎年6月に開催いたします。
<b>配当金受領株主確定日</b>	利益配当金……3月31日 中間配当金……9月30日
<b>基準日</b>	毎年3月31日の最終の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された株主をもって、その決算期に関する定時株主総会において権利を行使することができる株主といたします。その他必要のある場合は、取締役会の決議により、あらかじめ公告し、基準日を定めます。

**公告方法**  
大阪市において発行される日本経済新聞に掲載いたします。

**名義書換代理人  
同事務取扱場所**  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
大阪市中央区伏見町3丁目6番3号（〒541-8502）  
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
電話（通話無料）0120-094-777

**同 取 次 所**  
三菱UFJ信託銀行株式会社本店および支店、  
ならびに野村證券株式会社本店および支店

株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行株式会社  
の電話およびインターネットでも24時間承っております。

電 話（通 話 無 料）0120-244-479（本店証券代行部）  
0120-684-479（大阪証券代行部）

インターネットホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

**株式上場市場**  
東京証券取引所 第1部  
大阪証券取引所 第1部